

東京都障害者居宅介護従業者基礎研修等事業者指定要領新旧対照表

(下線の部分は改正部分。別表１の表中については、下線の部分以外についても字体及びフォントサイズを変更する。)

| 改正案                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 現行                                                                                                                                                                                                                               |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 東京都障害者居宅介護従業者基礎研修等事業者指定要領                                                                                                                                                                                                                                                              | 東京都障害者居宅介護従業者基礎研修等事業者指定要領                                                                                                                                                                                                        |
| <p>25福保生地第404号<br/>平成25年7月24日</p> <p>一部改正 26福保生地第719号<br/>平成26年10月21日</p> <p>一部改正 27福保生地第832号<br/>平成27年4月1日</p> <p>一部改正 27福保生地第976号<br/>平成28年1月25日</p> <p>一部改正 2福保生地第979号<br/>令和2年11月5日</p> <p>一部改正 2福保生地第1593号<br/>令和3年3月3日</p> <p><u>一部改正 6福祉生地第1621号</u><br/><u>令和7年3月19日</u></p>   | <p>25福保生地第404号<br/>平成25年7月24日</p> <p>一部改正 26福保生地第719号<br/>平成26年10月21日</p> <p>一部改正 27福保生地第832号<br/>平成27年4月1日</p> <p>一部改正 27福保生地第976号<br/>平成28年1月25日</p> <p>一部改正 2福保生地第979号<br/>令和2年11月5日</p> <p>一部改正 2福保生地第1593号<br/>令和3年3月3日</p> |
| 1から9まで<br>(現行のとおり)                                                                                                                                                                                                                                                                     | 1から9まで<br>(略)                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>10 研修事業の変更・休講</p> <p>(1) 事業者は、事業者として指定を受けた後に、その内容又は指定を受けた研修内容の一部をやむを得ず変更する場合、変更の10日前までに「変更・休講届」(別記第5号様式)を知事に届け出るものとする。</p> <p><u>なお、次のいずれかに該当する場合については、知事への報告は不要とする。ただし、変更した内容については、知事から確認を求められた際に報告できるよう情報を管理しておくこと。</u></p> <p><u>ア 届出済みの「研修会場一覧」(別記第1号の8様式)の範囲内での使用会場の変更</u></p> | <p>10 研修事業の変更・休講</p> <p>(1) 事業者は、事業者として指定を受けた後に、その内容又は指定を受けた研修内容の一部をやむを得ず変更する場合に限り、変更の10日前までに「変更・休講届」(別記第5号様式)を知事に届け出るものとする。</p>                                                                                                 |

イ 届出済みの「担当講師一覧」(別記第1号の10様式)の範囲内での担当講師の変更

(2) (1)の規定にかかわらず、重度訪問介護従業者養成研修(基礎課程・追加課程・統合課程・行動障害支援課程)、行動援護従業者養成研修課程及び同行援護従業者養成研修(一般課程・応用課程)については、年度内に12回以上実施する場合において、研修日程の変更(研修回数の追加を除く。)を行う場合には、当該年度の全研修日程修了後1か月以内に実績報告書と併せて知事に届け出ることができる。

(3) 事業者は、指定を受けた研修をやむを得ず休講する場合は、開講予定日の10日前までに「変更・休講届」(別記第5号様式)を知事に届け出るものとする。

1.1 実績報告

事業者は、各研修修了後1か月以内に「東京都障害者居宅介護従業者基礎研修等事業実績報告書」(別記第6号様式)に(1)を添付して知事に報告するものとする。ただし、補講者分の実績報告については、補講修了後1か月以内に「東京都障害者居宅介護従業者基礎研修等事業実績報告書(補講者分)」(別記第6号の2様式)に(1)を添付して知事に報告するものとする。

なお、(2)から(5)については、知事が別途求めた場合に提出することとし、実績報告時の提出は不要とする。

また、重度訪問介護従業者養成研修(基礎課程・追加課程・統合課程・行動障害支援課程)、行動援護従業者養成研修課程及び同行援護従業者養成研修(一般課程・応用課程)については、年度内に12回以上実施する場合は、当該年度の全研修日程修了後に知事に報告することができる。

(2)については、事業者作成の任意様式において指定を受けた研修回ごとの講師の出講を確認することができる場合、(2)によらず当該任意様式に代えることができるものとし、(3)については、実習を行った場合のみ作成するものとする。

(以下、現行のとおり)

(2) (1)の規定にかかわらず、重度訪問介護従業者養成研修(基礎課程・追加課程・統合課程・行動障害支援課程)、行動援護従業者養成研修課程及び同行援護従業者養成研修(一般課程・応用課程)については、年度内に12回以上実施する場合において、次のいずれかに該当する場合には、当該年度の全研修日程修了後1か月以内に実績報告書と併せて知事に届け出ることができる。

ア 届出済みの「研修会場一覧」の範囲内での使用会場の変更。

イ 届出済みの「担当講師一覧」の範囲内での担当講師の変更。

ウ 研修日程の変更(研修回数の追加を除く。)

(3) 事業者は、指定を受けた研修をやむを得ず休講する場合は、開講予定日の10日前までに「変更・休講届」(別記第5号様式)を知事に届け出るものとする。

1.1 実績報告

事業者は、各研修修了後1か月以内に「東京都障害者居宅介護従業者基礎研修等事業実績報告書」(別記第6号様式)に(1)を添付して知事に報告するものとする。ただし、補講者分の実績報告については、補講修了後1か月以内に「東京都障害者居宅介護従業者基礎研修等事業実績報告書(補講者分)」(別記第6号の2様式)に(1)を添付して知事に報告するものとする。

なお、(2)から(5)については、知事が別途提出を求めた場合に提出することとし、実績報告時の提出は不要とする。

また、重度訪問介護従業者養成研修(基礎課程・追加課程・統合課程・行動障害支援課程)、行動援護従業者養成研修課程及び同行援護従業者養成研修(一般課程・応用課程)については、年度内に12回以上実施する場合は、当該年度の全研修日程修了後に知事に報告することができる。

(2)については、事業者作成の任意様式において指定を受けた研修回ごとの講師の出講を確認することができる場合、(2)によらず当該任意様式にかえることができるものとし、(3)については、実習を行った場合のみ作成するものとする。

(略)

## 1 2 研修事業の休止・再開

(1) 研修事業の休止とは、研修事業を4月から翌年3月までの1年度間にわたり開講しない場合をいい、事業者は、2年度間に限り研修事業の休止をすることができる。ただし、新たに事業者指定を受けて実施する最初の研修の開講日が翌年度以降になり、実施しない年度が生じる場合は休止とならない。

なお、開講する年度とは、研修開始日が属する年度をいう。

(2) から (3) まで  
(現行のとおり)

## 1 3 研修事業の廃止

(1) から (2) まで  
(現行のとおり)

(3) 研修事業を廃止した場合、事業者は次のことに留意するものとする。

ア 16の(1)に定める書類を規定の期間保存し、研修修了者から修了証明書の再発行等を求められた場合に対応できる体制を整備しておくこと。

また、16の(2)から(5)までに定める書類についても、規定の期間保存すること。

イ 研修修了者に対し、事業の廃止及び今後の連絡先を周知すること。

ウ 法人を解散する場合は、アの業務を確実に行うことができる事業者に引継ぎを行うこと。他の事業者とは、原則として、都において障害者居宅介護従業者基礎研修等事業者として同一の課程の指定を受けている事業者とする。引継ぎの際、16の(2)から(5)までに定める書類については、事業者間で別途協議の上、規定の期間保存すること。

(4) 知事は、事業者から休止の届出がなく研修事業が2年度間にわたり開講されない場合は、研修事業を廃止したものとみなす。この場合、知事は「東京都障害者居宅介護従業者基礎研修等事業廃止通知書」(別記第11号様式)により当該事業者に通知するものとする。

1 4から1 6まで  
(現行のとおり)

## 1 2 研修事業の休止・再開

(1) 研修事業の休止とは、研修事業を4月から翌年3月までの1年度間にわたり開講しない場合をいい、事業者は、1年度に限り研修事業の休止をすることができる。ただし、新たに事業者指定を受けて実施する最初の研修の開講日が翌年度以降になり、実施しない年度が生じる場合は休止とならない。

なお、開講する年度とは、研修開始日が属する年度をいう。

(2) から (3) まで  
(略)

## 1 3 研修事業の廃止

(1) から (2) まで  
(略)

(3) 研修事業を廃止した場合、事業者は次のことに留意するものとする。

ア 16の(1)に定める書類を規定の期間保存し、研修修了者から修了証明書の再発行等を求められた場合に対応できる体制を整備しておくこと。

また、16の(2)から(5)までに定める書類についても、規定の期間保存すること。

イ 研修修了者に対し、事業の廃止及び今後の連絡先を周知すること。

ウ 法人を解散する場合は、他の事業者にアの引継ぎを行うこと。他の事業者とは、原則として、都において障害者居宅介護従業者基礎研修等事業者として同一の課程及び形式の指定を受けている事業者とする。引継ぎの際、16の(2)から(5)までに定める書類については、事業者間で別途協議の上、規定の期間保存すること。

(4) 知事は、事業者から休止の届出がなく研修事業が1年度間にわたり開講されない場合は、研修事業を廃止したものとみなす。この場合、知事は「東京都障害者居宅介護従業者基礎研修等事業廃止通知書」(別記第11号様式)により当該事業者に通知するものとする。

1 4から1 6まで  
(略)

17

(1) から (3) まで  
(現行のとおり)

(4) 実施要綱及び本指定要領に基づく重度訪問介護従業者養成研修の基礎課程、追加課程及び行動障害支援課程のいずれかにおいて事業者としての指定を受けているものが同研修の他の課程（統合課程を除く。）を実施する場合は、当該研修事業の指定申請と同時に「東京都障害者居宅介護従業者基礎研修等事業 重度訪問介護従業者養成研修課程開始届」（別記第14号様式）により知事に届け出るものとする。

(5)  
(現行のとおり)

18

(現行のとおり)

附 則（平成25年7月24日付25福保生地第404号）  
この要領は、平成25年8月1日から施行する。

附 則（平成26年10月21日付26福保生地第719号）  
この要領は、平成26年10月21日から施行する。

附 則（平成27年4月1日付27福保生地第832号）  
この要領は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成28年1月25日付27福保生地第976号）  
この要領は、平成28年1月25日から施行する。

附 則（令和2年11月5日付2福保生地第979号）  
この要領は、令和2年12月1日から施行する。

17

(1) から (3) まで  
(略)

(4) 実施要綱及び本指定要領に基づく重度訪問介護従業者養成研修の基礎課程、追加課程及び行動障害支援課程のいずれかにおいて事業者としての指定を受けているものが同研修の他の課程（統合課程を除く。）を実施する場合は、当該研修事業の指定申請と同時に「東京都障害者居宅介護従業者基礎研修等事業 重度訪問介護従業者養成研修課程開始届」（別記第14号様式）により知事に届け出るものとする。

(5)  
(略)

18

(略)

附 則（平成25年7月24日付25福保生地第404号）  
この要領は、平成25年8月1日から施行する。

附 則（平成26年10月21日付26福保生地第719号）  
この要領は、平成26年10月21日から施行する。

附 則（平成27年4月1日付27福保生地第832号）  
この要領は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成28年1月25日付27福保生地第976号）  
この要領は、平成28年1月25日から施行する。

附 則（令和2年11月5日付2福保生地第979号）  
この要領は、令和2年12月1日から施行する。

附 則（令和３年３月３日付２福保生地第１５９３号）  
この要領は、令和３年４月１日から施行する。

附 則（令和７年３月１９日付６福祉生地第１６２１号）  
この要領は、令和７年４月１日から施行する。

附 則（令和３年３月３日付２福保生地第１５９３号）  
この要領は、令和３年４月１日から施行する。 \_

別表 1

障害者居宅介護従業者基礎研修等講師要件一覧

1 障害者居宅介護従業者基礎研修課程

| 科目                    | 求められる能力（注1）                                                                                                                            | 講師の要件（注2）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| （1）講義                 |                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| ア 社会福祉に関する知識          |                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| （ア）サービス提供の<br>基本視点    | <div>○ 障害・疾病に関する知識</div> <div>○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論</div> <div>○ 保健・医療・福祉の制度とサービスについての具体的な知識</div> <div>※ 在宅生活者への直接援助経験があることが望ましい</div> | <div>① 介護福祉士</div> <div>② 社会福祉士</div> <div>③ 介護職員基礎研修課程修了者</div> <div>④ 実務者研修修了者</div> <div>⑤ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者</div> <div>⑥ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師</div> <div>⑦ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士</div> <div>⑧ 社会福祉施設の施設長（又は管理者）及び主任指導員等</div> <div>⑨ 介護・福祉系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）</div> <div>⑩ その他（注3）</div> |
| （イ）障害者（児）福祉の制度とサービス   | <div>○ 各法に関する知識及び制度とサービスについての知識</div>                                                                                                  | <div>① 当該科目を担当する現職の行政職員</div> <div>② 社会福祉士</div> <div>③ 当該社会福祉施設に勤務する職員〔施設長（又は管理者）、主任指導員等〕</div> <div>④ 介護・福祉系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）</div> <div>⑤ その他（注3）</div>                                                                                                                                                                          |
| （ウ）高齢者保健福祉の制度とサービス    |                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| イ ホームヘルプサービスに関する知識と方法 |                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| （ア）ホームヘルプサービス概論       | <div>○ 保健、福祉の制度とサービスについての知識</div> <div>○ ホームヘルプサービスの実務に関する具体的な知識</div>                                                                 | <div>① 当該科目を担当する現職の行政職員</div> <div>② 介護福祉士</div> <div>③ 介護職員基礎研修課程修了者</div> <div>④ 実務者研修修了者</div> <div>⑤ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者</div> <div>⑥ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師</div>                                                                                                                                                                              |

別表 1

障害者居宅介護従業者基礎研修等講師要件一覧

1 障害者居宅介護従業者基礎研修課程

| 科目                    | 求められる能力（注1）                                                                                                                                                | 講師の要件（注2）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| （1）講義                 |                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| ア 社会福祉に関する知識          |                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| （ア）サービス提供の基本視点        | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 障害・疾病に関する知識</li><li>○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論</li><li>○ 保健・医療・福祉の制度とサービスについての具体的な知識</li></ul> ※ 在宅生活者への直接援助経験があることが望ましい | <ul style="list-style-type: none"><li>① 介護福祉士</li><li>② 社会福祉士</li><li>③ 介護職員基礎研修課程修了者</li><li>④ 実務者研修修了者</li><li>⑤ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者</li><li>⑥ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師</li><li>⑦ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士</li><li>⑧ 社会福祉施設の施設長（又は管理者）及び主任指導員等</li><li>⑨ 介護・福祉系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員</li><li>⑩ その他（注3）</li></ul> |
| （イ）障害者（児）福祉の制度とサービス   | ○ 各法に関する知識及び制度とサービスについての知識                                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"><li>① 当該科目を担当する現職の行政職員</li><li>② 社会福祉士</li><li>③ 当該社会福祉施設に勤務する職員〔施設長（又は管理者）、主任指導員等〕</li><li>④ 介護・福祉系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員</li><li>⑤ その他（注3）</li></ul>                                                                                                                                                           |
| （ウ）高齢者保健福祉の制度とサービス    |                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| イ ホームヘルプサービスに関する知識と方法 |                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| （ア）ホームヘルプサービス概論       | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 保健、福祉の制度とサービスについての知識</li><li>○ ホームヘルプサービスの実務に関する具体的な知識</li></ul>                                                   | <ul style="list-style-type: none"><li>① 当該科目を担当する現職の行政職員</li><li>② 介護福祉士</li><li>③ 介護職員基礎研修課程修了者</li><li>④ 実務者研修修了者</li><li>⑤ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者</li><li>⑥ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師</li></ul>                                                                                                                                           |

|               |                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                          |               |                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|               |                                                                                                       | ⑦ 訪問介護・居宅介護事業所の管理者（所長）<br>⑧ 介護・福祉系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>⑨ その他（注3）                                                                                                                                          |               |                                                                                                       | ⑦ 訪問介護・居宅介護事業所の管理者（所長）<br>⑧ 介護・福祉系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員<br>⑨ その他（注3）                                                                                                                                          |
| （イ）サービス利用者の理解 | ○ ホームヘルプサービスに関する知識<br>○ 障害・疾病に関する知識<br>○ 高齢者・障害者（児）及びその家族の生活実態と心理に関する知識<br>○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論       | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修課程修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者<br>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>⑧ その他（注3）    | （イ）サービス利用者の理解 | ○ ホームヘルプサービスに関する知識<br>○ 障害・疾病に関する知識<br>○ 高齢者・障害者（児）及びその家族の生活実態と心理に関する知識<br>○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論       | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修課程修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者<br>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員<br>⑧ その他（注3）    |
| （ウ）介護概論       | ○ 障害・疾病に関する知識<br>○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例<br>○ 保健、福祉の制度とサービスについての知識      | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修課程修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者<br>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>⑧ その他（注3） | （ウ）介護概論       | ○ 障害・疾病に関する知識<br>○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例<br>○ 保健、福祉の制度とサービスについての知識      | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修課程修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者<br>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員<br>⑧ その他（注3） |
| （エ）家事援助の方法    | ○ 障害・疾病に関する知識<br>○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論<br>○ 栄養・調理・被服等、家政に関する知識<br>※ 講師を栄養士とした場合、被服・家政に関する講師をもう1人配置すること | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修課程修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者<br>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑥ 栄養士<br>⑦ 介護・福祉・家政系大学の学部・学科、介                                                                                           | （エ）家事援助の方法    | ○ 障害・疾病に関する知識<br>○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論<br>○ 栄養・調理・被服等、家政に関する知識<br>※ 講師を栄養士とした場合、被服・家政に関する講師をもう1人配置すること | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修課程修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者<br>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑥ 栄養士<br>⑦ 介護・福祉・家政系大学の学部・学科、介                                                                    |

|                  |                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                    |                  |                                                                                                                                                  |                                                                                                                                             |
|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                  |                                                                                                                                                  | 介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>⑧ その他（注3）                                                                                                               |                  |                                                                                                                                                  | 介護福祉士養成校・養成施設の教員<br>⑧ その他（注3）                                                                                                               |
| ウ 関連領域の基礎知識      |                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                    | ウ 関連領域の基礎知識      |                                                                                                                                                  |                                                                                                                                             |
| （ア）医学の基礎知識       | ○ ホームヘルプサービスに関する知識<br>○ 医療に関する知識<br>○ 在宅看護に関する知識                                                                                                 | ① 医師<br>② 看護師、保健師<br>③ 医学・看護系大学の学部・学科の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>④ その他（注3）                                                                                       | （ア）医学の基礎知識       | ○ ホームヘルプサービスに関する知識<br>○ 医療に関する知識<br>○ 在宅看護に関する知識                                                                                                 | ① 医師<br>② 看護師、保健師<br>③ 医学・看護系大学の学部・学科の教員<br>④ その他（注3）                                                                                       |
| （イ）心理面への援助方法     | ※ 当該科目は、「心理面への援助の必要性と方法」又は「レクリエーションの視点と実際」のいずれかの内容を選択して2時間講義することとし、「レクリエーションの視点と実際」については演習を含む講義内容とする                                             |                                                                                                                                                                    | （イ）心理面への援助方法     | ※ 当該科目は、「心理面への援助の必要性と方法」又は「レクリエーションの視点と実際」のいずれかの内容を選択して2時間講義することとし、「レクリエーションの視点と実際」については演習を含む講義内容とする                                             |                                                                                                                                             |
|                  | 「心理面への援助の必要性と方法」<br>○ ホームヘルプサービスに関する知識<br>○ 障害・疾病に関する知識<br>○ 高齢者・障害者（児）及びその家族の生活実態と心理に関する知識<br>○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論<br>※ 在宅生活者への直接援助経験があることが望ましい | ① 介護福祉士<br>② 訪問看護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>③ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>④ 介護・福祉・心理・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>⑤ その他（注3） |                  | 「心理面への援助の必要性と方法」<br>○ ホームヘルプサービスに関する知識<br>○ 障害・疾病に関する知識<br>○ 高齢者・障害者（児）及びその家族の生活実態と心理に関する知識<br>○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論<br>※ 在宅生活者への直接援助経験があることが望ましい | ① 介護福祉士<br>② 訪問看護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>③ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>④ 介護・福祉・心理・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員<br>⑤ その他（注3） |
|                  | 「レクリエーションの視点と実際」<br>○ ホームヘルプサービスについての具体的な知識<br>○ 在宅レクリエーションの知識と技術<br>○ 演習を指導する技術<br>※ 在宅生活者への直接援助経験があることが望ましい                                    | ① 作業療法士<br>② 在宅レクリエーションの専門家<br>③ 介護福祉士<br>④ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師<br>⑤ 介護・福祉系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>⑥ その他（注3）                  |                  | 「レクリエーションの視点と実際」<br>○ ホームヘルプサービスについての具体的な知識<br>○ 在宅レクリエーションの知識と技術<br>○ 演習を指導する技術<br>※ 在宅生活者への直接援助経験があることが望ましい                                    | ① 作業療法士<br>② 在宅レクリエーションの専門家<br>③ 介護福祉士<br>④ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師<br>⑤ 介護・福祉系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員<br>⑥ その他（注3）                  |
| （2）演習            |                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                    | （2）演習            |                                                                                                                                                  |                                                                                                                                             |
| ア 共感的理解と基本的態度の形成 | ○ 障害・疾病に関する知識<br>○ ホームヘルプサービスについての具体的な知識<br>○ ロールプレイを含む臨床心理学に基づく共感性を高めるプラクティスの技術<br>○ 演習を指導する技術                                                  | ① 介護福祉士<br>② 精神保健福祉士<br>③ 臨床心理士<br>④ 心理学的援助にかかる臨床経験のある看護師、保健師<br>⑤ 介護・福祉・心理・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員の教                                                         | ア 共感的理解と基本的態度の形成 | ○ 障害・疾病に関する知識<br>○ ホームヘルプサービスについての具体的な知識<br>○ ロールプレイを含む臨床心理学に基づく共感性を高めるプラクティスの技術<br>○ 演習を指導する技術                                                  | ① 介護福祉士<br>② 精神保健福祉士<br>③ 臨床心理士<br>④ 心理学的援助にかかる臨床経験のある看護師、保健師<br>⑤ 介護・福祉・心理・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員の教                                  |

|                   | ※ 在宅生活者への直接援助経験があることが望ましい                                                                                                                                                                       | 員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>⑥ その他（注3）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| イ 介護技術入門          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障害・疾病に関する知識</li> <li>○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論</li> <li>○ 直接援助経験に基づく介護技術</li> <li>○ 自らの介護事例</li> <li>○ 保健、福祉の制度とサービスについての知識</li> <li>○ 演習を指導する技術</li> </ul> | <p>当該科目に関連する業務において、3年以上の実務経験を有する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 介護福祉士</li> <li>② 介護職員基礎研修課程修了者</li> <li>③ 実務者研修修了者</li> <li>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者</li> <li>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師</li> <li>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士</li> <li>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）</li> <li>⑧ その他（注3）</li> </ul> |
| ウ ホームヘルプサービスの共通理解 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ホームヘルプサービスの実際を紹介しつつ受講者の意見等を引き出す集団検討技術</li> </ul>                                                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 介護福祉士</li> <li>② 介護職員基礎研修課程修了者</li> <li>③ 実務者研修修了者</li> <li>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者</li> <li>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師</li> <li>⑥ 実務経験1年以上の現任のホームヘルパー</li> <li>⑦ その他（注3）</li> </ul>                                                                                                                                  |

（注1） 「求められる能力」とは、知識に関しては受講者の質問に対し的確に回答ができ、技術に関しては受講者に的確に指導できるレベルであることを必要とする。

（注2） 各科目の講師要件に係る業務に従事していた時期は、過去5年以内であることが望ましい。

（注3） 原則として、講師は「講師の要件」に該当する職にある者又は資格保有者とする。ただし、「その他」の者を講師として申請する場合は、その経歴及び業績が講師として適当であることを説明した理由書を提出すること。

  

|                   | ※ 在宅生活者への直接援助経験があることが望ましい                                                                                                                                                                       | 員<br>⑥ その他（注3）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| イ 介護技術入門          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障害・疾病に関する知識</li> <li>○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論</li> <li>○ 直接援助経験に基づく介護技術</li> <li>○ 自らの介護事例</li> <li>○ 保健、福祉の制度とサービスについての知識</li> <li>○ 演習を指導する技術</li> </ul> | <p>当該科目に関連する業務において、3年以上の実務経験を有する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 介護福祉士</li> <li>② 介護職員基礎研修課程修了者</li> <li>③ 実務者研修修了者</li> <li>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者</li> <li>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師</li> <li>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士</li> <li>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員</li> <li>⑧ その他（注3）</li> </ul> |
| ウ ホームヘルプサービスの共通理解 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ホームヘルプサービスの実際を紹介しつつ受講者の意見等を引き出す集団検討技術</li> </ul>                                                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 介護福祉士</li> <li>② 介護職員基礎研修課程修了者</li> <li>③ 実務者研修修了者</li> <li>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者</li> <li>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師</li> <li>⑥ 実務経験1年以上の現任のホームヘルパー</li> <li>⑦ その他（注3）</li> </ul>                                                                                                           |

（注1） 「求められる能力」とは、知識に関しては受講者の質問に対し的確に回答ができ、技術に関しては受講者に的確に指導できるレベルであることを必要とする。

（注2） 各科目の講師要件に係る業務に従事していた時期は、過去5年以内であることが望ましい。

（注3） 原則として、講師は「講師の要件」に該当する職にある者又は資格保有者とする。ただし、「その他」の者を講師として申請する場合は、その経歴及び業績が講師として適当であることを説明した理由書を提出すること。

  

2 重度訪問介護従業者養成研修（基礎課程）

2 重度訪問介護従業者養成研修（基礎課程）

| 科目                                     | 求められる能力（注１）                                          | 講師の要件（注２）                                                                                                                                                                                                                                                                              | 科目                                     | 求められる能力（注１）                                          | 講師の要件（注２）                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----------------------------------------|------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| （１）講義                                  |                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                        | （１）講義                                  |                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| ア 重度の肢体不自由者の地域生活等に関する講義                | ○ 保健、福祉の制度とサービスについての知識<br>○ ホームヘルプサービスの実務に関する具体的な知識  | ① 当該科目を担当する現職の行政職員<br>② 介護福祉士<br>③ 介護職員基礎研修修了者<br>④ 実務者研修修了者<br>⑤ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修１級課程修了者<br>⑥ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑦ 訪問介護・居宅介護事業所の管理者（所長）<br>⑧ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑨ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>⑩ その他（注３） | ア 重度の肢体不自由者の地域生活等に関する講義                | ○ 保健、福祉の制度とサービスについての知識<br>○ ホームヘルプサービスの実務に関する具体的な知識  | ① 当該科目を担当する現職の行政職員<br>② 介護福祉士<br>③ 介護職員基礎研修修了者<br>④ 実務者研修修了者<br>⑤ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修１級課程修了者<br>⑥ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑦ 訪問介護・居宅介護事業所の管理者（所長）<br>⑧ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑨ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員<br>⑩ その他（注３） |
| イ 基礎的な介護技術に関する講義                       | ○ 生活者支援の視点に立った介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例 | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修１級課程修了者<br>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>⑧ 重度訪問介護従業者として３年以上の実務経験を有する者<br>⑨ その他（注３）                 | イ 基礎的な介護技術に関する講義                       | ○ 生活者支援の視点に立った介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例 | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修１級課程修了者<br>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員<br>⑧ 重度訪問介護従業者として３年以上の実務経験を有する者<br>⑨ その他（注３）                 |
| （２）演習 ※実習に代えて演習を実施する場合                 |                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                        | （２）演習 ※実習に代えて演習を実施する場合                 |                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| ア 基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関する演習 | ○ 生活者支援の視点に立った介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例 | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修１級課程修了者                                                                                                                                                                                                                   | ア 基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関する演習 | ○ 生活者支援の視点に立った介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例 | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修１級課程修了者                                                                                                                                                                                            |

| イ 外出時の介護技術に関する演習                                                                                                                                                                                                                           |                                                      | ⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>⑧ 重度訪問介護従業者として3年以上の実務経験を有する者<br>⑨ その他（注3） |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| （注1） 「求められる能力」とは、知識に関しては受講者の質問に対し的確に回答ができ、技術に関しては受講者に的確に指導できるレベルであることを必要とする。<br>（注2） 各科目の講師要件に係る業務に従事していた時期は、過去5年以内であることが望ましい。<br>（注3） 原則として、講師は「講師の要件」に該当する職にある者又は資格保有者とする。ただし、「その他」の者を講師として申請する場合は、その経歴及び業績が講師として適当であることを説明した理由書を提出すること。 |                                                      |                                                                                                                                                                                                |
| 3 重度訪問介護従業者養成研修（追加課程）                                                                                                                                                                                                                      |                                                      |                                                                                                                                                                                                |
| 科目                                                                                                                                                                                                                                         | 求められる能力（注1）                                          | 講師の要件（注2）                                                                                                                                                                                      |
| （1）講義                                                                                                                                                                                                                                      |                                                      |                                                                                                                                                                                                |
| ア 医療的ケアを必要とする重度訪問介護利用者の障害及び支援に関する講義                                                                                                                                                                                                        | ○ ホームヘルプに関する知識<br>○ 医療に関する知識<br>○ 在宅看護に関する知識         | ① 医師<br>② 看護師、保健師<br>③ 医学・看護系大学の学部・学科の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>④ 3年以上の実務経験と関連領域について必要な知識を有する介護福祉士<br>⑤ その他（注3）                                                                             |
| イ コミュニケーションの技術に関する講義                                                                                                                                                                                                                       | ○ 生活者支援の視点に立った介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例 | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者<br>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師                                                                                     |

| イ 外出時の介護技術に関する演習                                                                                                                                                                                                                           |                                                      | ⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員<br>⑧ 重度訪問介護従業者として3年以上の実務経験を有する者<br>⑨ その他（注3） |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| （注1） 「求められる能力」とは、知識に関しては受講者の質問に対し的確に回答ができ、技術に関しては受講者に的確に指導できるレベルであることを必要とする。<br>（注2） 各科目の講師要件に係る業務に従事していた時期は、過去5年以内であることが望ましい。<br>（注3） 原則として、講師は「講師の要件」に該当する職にある者又は資格保有者とする。ただし、「その他」の者を講師として申請する場合は、その経歴及び業績が講師として適当であることを説明した理由書を提出すること。 |                                                      |                                                                                                                                                                         |
| 3 重度訪問介護従業者養成研修（追加課程）                                                                                                                                                                                                                      |                                                      |                                                                                                                                                                         |
| 科目                                                                                                                                                                                                                                         | 求められる能力（注1）                                          | 講師の要件（注2）                                                                                                                                                               |
| （1）講義                                                                                                                                                                                                                                      |                                                      |                                                                                                                                                                         |
| ア 医療的ケアを必要とする重度訪問介護利用者の障害及び支援に関する講義                                                                                                                                                                                                        | ○ ホームヘルプに関する知識<br>○ 医療に関する知識<br>○ 在宅看護に関する知識         | ① 医師<br>② 看護師、保健師<br>③ 医学・看護系大学の学部・学科の教員<br>④ 3年以上の実務経験と関連領域について必要な知識を有する介護福祉士<br>⑤ その他（注3）                                                                             |
| イ コミュニケーションの技術に関する講義                                                                                                                                                                                                                       | ○ 生活者支援の視点に立った介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例 | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者<br>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師                                                              |

|                            |                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                        |                            |                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                            |                                                                               | ⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>⑧ 重度訪問介護従業者として3年以上の実務経験を有する者<br>⑨ その他（注3）                                                                                                               |                            |                                                                               | ⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員<br>⑧ 重度訪問介護従業者として3年以上の実務経験を有する者<br>⑨ その他（注3）                                                                                                               |
| ウ 緊急時の対応及び危険防止に関する講義       | ○ 緊急時の対応及び危険防止に関する知識<br>○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例 | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者<br>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>⑧ 重度訪問介護従業者として3年以上の実務経験を有する者<br>⑨ その他（注3） | ウ 緊急時の対応及び危険防止に関する講義       | ○ 緊急時の対応及び危険防止に関する知識<br>○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例 | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者<br>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員<br>⑧ 重度訪問介護従業者として3年以上の実務経験を有する者<br>⑨ その他（注3） |
| (2) 演習 ※実習に代えて演習を実施する場合    |                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                        | (2) 演習 ※実習に代えて演習を実施する場合    |                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                 |
| ア 重度の肢体不自由者の介護サービス提供現場での演習 | ○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例                         | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者<br>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>⑧ 重度訪問介護従業者として3年以上の実務経験を有する者<br>⑨ その他（注3） | ア 重度の肢体不自由者の介護サービス提供現場での演習 | ○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例                         | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者<br>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員<br>⑧ 重度訪問介護従業者として3年以上の実務経験を有する者<br>⑨ その他（注3） |

- (注1) 「求められる能力」とは、知識に関しては受講者の質問に対し的確に回答ができ、技術に関しては受講者に的確に指導できるレベルであることを必要とする。
- (注2) 各科目の講師要件に係る業務に従事していた時期は、過去5年以内であることが望ましい。
- (注3) 原則として、講師は「講師の要件」に該当する職にある者又は資格保有者とする。ただし、「その他」の者を講師として申請する場合は、その経歴及び業績が講師として適当であることを説明した理由書を提出すること。

- (注1) 「求められる能力」とは、知識に関しては受講者の質問に対し的確に回答ができ、技術に関しては受講者に的確に指導できるレベルであることを必要とする。
- (注2) 各科目の講師要件に係る業務に従事していた時期は、過去5年以内であることが望ましい。
- (注3) 原則として、講師は「講師の要件」に該当する職にある者又は資格保有者とする。ただし、「その他」の者を講師として申請する場合は、その経歴及び業績が講師として適当であることを説明した理由書を提出すること。

#### 4 重度訪問介護従業者養成研修（統合課程）

| 科目                      | 求められる能力（注1）                                         | 講師の要件（注2）                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-------------------------|-----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| （1）講義                   |                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| ア 重度の肢体不自由者の地域生活等に関する講義 | ○ 保健、福祉の制度とサービスについての知識<br>○ ホームヘルプサービスの実務に関する具体的な知識 | ① 当該科目を担当する現職の行政職員<br>② 介護福祉士<br>③ 介護職員基礎研修修了者<br>④ 実務者研修修了者<br>⑤ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者<br>⑥ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑦ 訪問介護・居宅介護事業所の管理者（所長）<br>⑧ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑨ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>⑩ その他（注3） |

#### 4 重度訪問介護従業者養成研修（統合課程）

| 科目                      | 求められる能力（注1）                                         | 講師の要件（注2）                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------------|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| （1）講義                   |                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| ア 重度の肢体不自由者の地域生活等に関する講義 | ○ 保健、福祉の制度とサービスについての知識<br>○ ホームヘルプサービスの実務に関する具体的な知識 | ① 当該科目を担当する現職の行政職員<br>② 介護福祉士<br>③ 介護職員基礎研修修了者<br>④ 実務者研修修了者<br>⑤ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者<br>⑥ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑦ 訪問介護・居宅介護事業所の管理者（所長）<br>⑧ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑨ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員<br>⑩ その他（注3） |

|                                                   |                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| イ 基礎的な介護技術に関する講義                                  | ○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例                | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者<br>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>⑧ 重度訪問介護従業者として3年以上の実務経験を有する者<br>⑨ その他（注3） |
| ウ コミュニケーションの技術に関する講義                              |                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| エ 喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義① | ○ ホームヘルプに関する知識<br>○ 医療に関する知識<br>○ 在宅看護に関する知識<br>○ 緊急時の対応及び危険防止に関する知識 | 登録研修機関に登録されている医師、保健師、助産師及び看護師                                                                                                                                                                                                                                          |
| オ 経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義② | ○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例                |                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| (2) 演習                                            |                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| ア 喀痰吸引等に関する演習                                     | ○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例<br>○ 演習を指導する能力 | 登録研修機関に登録されている医師、保健師、助産師及び看護師                                                                                                                                                                                                                                          |
| (3) 演習 ※実習に代えて演習を実施する場合                           |                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| ア 基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関する演習            | ○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例                | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者                                                                                                                                                                                                   |

|                                                   |                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                     |
|---------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| イ 基礎的な介護技術に関する講義                                  | ○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例                | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者<br>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員<br><br>⑧ 重度訪問介護従業者として3年以上の実務経験を有する者<br>⑨ その他（注3） |
| ウ コミュニケーションの技術に関する講義                              |                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                     |
| エ 喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義① | ○ ホームヘルプに関する知識<br>○ 医療に関する知識<br>○ 在宅看護に関する知識<br>○ 緊急時の対応及び危険防止に関する知識 | 登録研修機関に登録されている医師、保健師、助産師及び看護師                                                                                                                                                                                                                       |
| オ 経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義② | ○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例                |                                                                                                                                                                                                                                                     |
| (2) 演習                                            |                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                     |
| ア 喀痰吸引等に関する演習                                     | ○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例<br>○ 演習を指導する能力 | 登録研修機関に登録されている医師、保健師、助産師及び看護師                                                                                                                                                                                                                       |
| (3) 演習 ※実習に代えて演習を実施する場合                           |                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                     |
| ア 基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関する演習            | ○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例                | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者                                                                                                                                                                                |

|                                                                                                                                                                                                                                            |                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                            |                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| イ 外出時の介護技術に関する演習                                                                                                                                                                                                                           |                                                       | ⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>⑧ 重度訪問介護従業者として3年以上の実務経験を有する者<br>⑨ その他（注3）                                                                         | イ 外出時の介護技術に関する演習                                                                                                                                                                                                                           |                                                       | ⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員<br>⑧ 重度訪問介護従業者として3年以上の実務経験を有する者<br>⑨ その他（注3）                                                                         |
| ウ 重度の肢体不自由者の介護サービス提供現場での演習                                                                                                                                                                                                                 | ○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例 | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者<br>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>⑧ 重度訪問介護従業者として3年以上の実務経験を有する者<br>⑨ その他（注3） | ウ 重度の肢体不自由者の介護サービス提供現場での演習                                                                                                                                                                                                                 | ○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例 | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者<br>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員<br>⑧ 重度訪問介護従業者として3年以上の実務経験を有する者<br>⑨ その他（注3） |
| (注1) 「求められる能力」とは、知識に関しては受講者の質問に対しの確に回答ができ、技術に関しては受講者に的確に指導できるレベルであることを必要とする。<br>(注2) 各科目の講師要件に係る業務に従事していた時期は、過去5年以内であることが望ましい。<br>(注3) 原則として、講師は「講師の要件」に該当する職にある者又は資格保有者とする。ただし、「その他」の者を講師として申請する場合は、その経歴及び業績が講師として適当であることを説明した理由書を提出すること。 |                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                        | (注1) 「求められる能力」とは、知識に関しては受講者の質問に対しの確に回答ができ、技術に関しては受講者に的確に指導できるレベルであることを必要とする。<br>(注2) 各科目の講師要件に係る業務に従事していた時期は、過去5年以内であることが望ましい。<br>(注3) 原則として、講師は「講師の要件」に該当する職にある者又は資格保有者とする。ただし、「その他」の者を講師として申請する場合は、その経歴及び業績が講師として適当であることを説明した理由書を提出すること。 |                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                 |

| 5 重度訪問介護従業者養成研修（行動障害支援課程）         |                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 5 重度訪問介護従業者養成研修（行動障害支援課程）         |                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 科目                                | 求められる能力（注1）                                                                                                                                                          | 講師の要件（注2）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 科目                                | 求められる能力（注1）                                                                                                                                                                                                                                 | 講師の要件（注2）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| （1）講義                             |                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | （1）講義                             |                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| ア 強度行動障害がある者の基本的理解に関する講義          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 疾病・障害に関する知識</li> <li>○ 強度行動障害がある者及びその家族の生活実態に関する知識</li> <li>○ 強度行動障害支援の制度に関する知識</li> <li>○ 強度行動障害支援の実務に関する具体的な知識</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 介護福祉士</li> <li>② 社会福祉士</li> <li>③ 精神保健福祉士</li> <li>④ 介護職員基礎研修修了者</li> <li>⑤ 実務者研修修了者</li> <li>⑥ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者</li> <li>⑦ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師・准看護師・保健師</li> <li>⑧ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士</li> <li>⑨ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）</li> <li>⑩ 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園が開催する強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）指導者研修の修了者</li> <li>⑪ 都道府県が開催する強度行動障害支援者養成研修（実践研修）の修了者</li> <li>⑫ 平成27年4月以降に開催された行動援護従業者養成研修修了者</li> <li>⑬ 養護学校の教員・知的障害者教育に従事する者</li> <li>⑭ その他（注3）</li> </ul> | ア 強度行動障害がある者の基本的理解に関する講義          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 疾病・障害に関する知識</li> <li>○ 強度行動障害がある者及びその家族の生活実態に関する知識</li> <li>○ 強度行動障害支援の制度に関する知識</li> <li>○ 強度行動障害支援の実務に関する具体的な知識</li> <li>○ 人権尊重に関する知識</li> <li>○ 行動援護従業者の職業倫理に関する知識</li> <li>○ 自らの介護事例</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 介護福祉士</li> <li>② 社会福祉士</li> <li>③ 精神保健福祉士</li> <li>④ 介護職員基礎研修修了者</li> <li>⑤ 実務者研修修了者</li> <li>⑥ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者</li> <li>⑦ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師・准看護師・保健師</li> <li>⑧ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士</li> <li>⑨ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員</li> <li>⑩ 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園が開催する強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）指導者研修の修了者</li> <li>⑪ 都道府県が開催する強度行動障害支援者養成研修（実践研修）の修了者</li> <li>⑫ 平成27年4月以降に開催された行動援護従業者養成研修修了者</li> <li>⑬ 養護学校の教員・知的障害者教育に従事する者</li> <li>⑭ その他（注3）</li> </ul> |
| イ 強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識に関する講義 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人権尊重に関する知識</li> <li>○ 行動援護従業者の職業倫理に関する知識</li> <li>○ 自らの介護事例</li> </ul>                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | イ 強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識に関する講義 |                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| （2）演習                             |                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | （2）演習                             |                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| ア 基本的な情報収集と記録等の共有に関する演習           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用者支援の視点に立脚した介護方法論</li> <li>○ 強度行動障害支援の実務に関する具体的な知識及び技術</li> </ul>                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 介護福祉士</li> <li>② 介護職員基礎研修修了者</li> <li>③ 実務者研修修了者</li> <li>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者</li> <li>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師</li> <li>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士</li> <li>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                | ア 基本的な情報収集と記録等の共有に関する演習           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用者支援の視点に立脚した介護方法論</li> <li>○ 強度行動障害支援の実務に関する具体的な知識及び技術</li> <li>○ 直接援助経験に基づく介護技術</li> <li>○ 自らの介護事例</li> <li>○ 擬似体験などにより、演習を指導する能力</li> </ul>                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 介護福祉士</li> <li>② 介護職員基礎研修修了者</li> <li>③ 実務者研修修了者</li> <li>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者</li> <li>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師</li> <li>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士</li> <li>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                         |
| イ 行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解に関する演習  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 直接援助経験に基づく介護技術</li> <li>○ 自らの介護事例</li> <li>○ 擬似体験などにより、演習を指導する能力</li> </ul>                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | イ 行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解に関する演習  |                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

|                                                                                                                                                                                                                                                           |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                           |  |                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>ウ 行動障害の背景にある特性の理解に関する演習</p>                                                                                                                                                                                                                            |  | <p>福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）</p> <p>⑧ 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園が開催する強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）指導者研修の修了者</p> <p>⑨ 都道府県が開催する強度行動障害支援者養成研修（実践研修）の修了者</p> <p>⑩ 平成27年4月以降に開催された行動援護従業者養成研修修了者</p> <p>⑪ 養護学校の教員・知的障害者教育に従事する者</p> <p>⑫ 知的障害者（児）・精神障害者（児）の直接支援業務に3年以上従事した者</p> <p>⑬ その他（注3）</p> | <p>ウ 行動障害の背景にある特性の理解に関する演習</p>                                                                                                                                                                                                                            |  | <p>福祉士養成校・養成施設の教員</p> <p>⑧ 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園が開催する強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）指導者研修の修了者</p> <p>⑨ 都道府県が開催する強度行動障害支援者養成研修（実践研修）の修了者</p> <p>⑩ 平成27年4月以降に開催された行動援護従業者養成研修修了者</p> <p>⑪ 養護学校の教員・知的障害者教育に従事する者</p> <p>⑫ 知的障害者（児）・精神障害者（児）の直接支援業務に3年以上従事した者</p> <p>⑬ その他（注3）</p> |
| <p>（注1） 「求められる能力」とは、知識に関しては受講者の質問に対し的確に応答ができ、技術に関しては受講者に的確に指導できるレベルであることを必要とする。</p> <p>（注2） 各科目の講師要件に係る業務に従事していた時期は、過去5年以内であることが望ましい。</p> <p>（注3） 原則として、講師は「講師の要件」に該当する職にある者又は資格保有者とする。ただし、「その他」の者を講師として申請する場合は、その経歴及び業績が講師として適当であることを説明した理由書を提出すること。</p> |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <p>（注1） 「求められる能力」とは、知識に関しては受講者の質問に対し的確に応答ができ、技術に関しては受講者に的確に指導できるレベルであることを必要とする。</p> <p>（注2） 各科目の講師要件に係る業務に従事していた時期は、過去5年以内であることが望ましい。</p> <p>（注3） 原則として、講師は「講師の要件」に該当する職にある者又は資格保有者とする。ただし、「その他」の者を講師として申請する場合は、その経歴及び業績が講師として適当であることを説明した理由書を提出すること。</p> |  |                                                                                                                                                                                                                                                                       |

| 6 行動援護従業者養成研修課程                   |                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 6 行動援護従業者養成研修課程                   |                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 科目                                | 求められる能力（注１）                                                                                                                                                          | 講師の要件（注２）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 科目                                | 求められる能力（注１）                                                                                                                                                          | 講師の要件（注２）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| （１）講義                             |                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | （１）講義                             |                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| ア 強度行動障害がある者の基本的理解に関する講義          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 疾病・障害に関する知識</li> <li>○ 強度行動障害がある者及びその家族の生活実態に関する知識</li> <li>○ 強度行動障害支援の制度に関する知識</li> <li>○ 強度行動障害支援の実務に関する具体的な知識</li> </ul> | ① 介護福祉士<br>② 社会福祉士<br>③ 精神保健福祉士<br>④ 介護職員基礎研修修了者<br>⑤ 実務者研修修了者<br>⑥ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修１級課程修了者<br>⑦ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師・准看護師・保健師<br>⑧ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士<br>⑨ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>⑩ 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園が開催する強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）指導者研修の修了者<br>⑪ 都道府県が開催する強度行動障害支援者養成研修（実践研修）の修了者<br>⑫ 平成２７年４月以降に開催された行動援護従業者養成研修修了者<br>⑬ 養護学校の教員・知的障害者教育に従事する者<br>⑭ その他（注３） | ア 強度行動障害がある者の基本的理解に関する講義          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 疾病・障害に関する知識</li> <li>○ 強度行動障害がある者及びその家族の生活実態に関する知識</li> <li>○ 強度行動障害支援の制度に関する知識</li> <li>○ 強度行動障害支援の実務に関する具体的な知識</li> </ul> | ① 介護福祉士<br>② 社会福祉士<br>③ 精神保健福祉士<br>④ 介護職員基礎研修修了者<br>⑤ 実務者研修修了者<br>⑥ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修１級課程修了者<br>⑦ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師・准看護師・保健師<br>⑧ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士<br>⑨ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員<br>⑩ 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園が開催する強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）指導者研修の修了者<br>⑪ 都道府県が開催する強度行動障害支援者養成研修（実践研修）の修了者<br>⑫ 平成２７年４月以降に開催された行動援護従業者養成研修修了者<br>⑬ 養護学校の教員・知的障害者教育に従事する者<br>⑭ その他（注３） |
| イ 強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識に関する講義 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人権尊重に関する知識</li> <li>○ 行動援護従業者の職業倫理に関する知識</li> <li>○ 自らの介護事例</li> </ul>                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | イ 強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識に関する講義 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人権尊重に関する知識</li> <li>○ 行動援護従業者の職業倫理に関する知識</li> <li>○ 自らの介護事例</li> </ul>                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| ウ 強度行動障害のある者へのチーム支援に関する講義         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 強度行動障害がある者に対し適切な支援計画を作成する能力</li> <li>○ 強度行動障害がある者の支援に関する具体的な知識及び経験に基づく技術</li> </ul>                                         | ① 行動障害を有する者が利用する施設等においてサービス管理責任者として従事経験のある者<br>② 行動援護事業所においてサービス提供責任者として従事経験のある者<br>③ 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園が開催する強度行動障害支援者養成研修（実践研修）指導者研修の修了者<br>④ 平成２７年４月以降に開講した行動援護従業者養成研修の修了者で、知的障害者（児）・精神障害者（児）に対する直接支援業務に３年以上従事した者<br>⑤ 知的障害者（児）・精神障害者（児）に対する直接支援業務に３年以上従事し、支援計画の作成に携わっている者<br>⑥ その他（注３）                                                                                                                           | ウ 強度行動障害のある者へのチーム支援に関する講義         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 強度行動障害がある者に対し適切な支援計画を作成する能力</li> <li>○ 強度行動障害がある者の支援に関する具体的な知識及び経験に基づく技術</li> </ul>                                         | ① 行動障害を有する者が利用する施設等においてサービス管理責任者として従事経験のある者<br>② 行動援護事業所においてサービス提供責任者として従事経験のある者<br>③ 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園が開催する強度行動障害支援者養成研修（実践研修）指導者研修の修了者<br>④ 平成２７年４月以降に開講した行動援護従業者養成研修の修了者で、知的障害者（児）・精神障害者（児）に対する直接支援業務に３年以上従事した者<br>⑤ 知的障害者（児）・精神障害者（児）に対する直接支援業務に３年以上従事し、支援計画の作成に携わっている者<br>⑥ その他（注３）                                                                                                    |
| エ 強度行動障害と生活の組み立てに関する講義            |                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | エ 強度行動障害と生活の組み立てに関する講義            |                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

| (2) 演習                           |                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | (2) 演習                           |                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ア 基本的な情報収集と記録等の共有に関する演習          | ○ 利用者支援の視点に立脚した介護方法論<br>○ 強度行動障害支援の実務に関する具体的な知識及び技術                                           | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者<br>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>⑧ 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園が開催する強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）指導者研修の修了者<br>⑨ 都道府県が開催する強度行動障害支援者養成研修（実践研修）の修了者<br>⑩ 平成27年4月以降に開催された行動援護従業者養成研修修了者<br>⑪ 養護学校の教員・知的障害者教育に従事する者<br>⑫ 知的障害者（児）・精神障害者（児）の直接支援業務に3年以上従事した者<br>⑬ その他（注3） | ア 基本的な情報収集と記録等の共有に関する演習          | ○ 利用者支援の視点に立脚した介護方法論<br>○ 強度行動障害支援の実務に関する具体的な知識及び技術<br>○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例<br>○ 擬似体験などにより、演習を指導する能力 | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者<br>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>⑧ 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園が開催する強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）指導者研修の修了者<br>⑨ 都道府県が開催する強度行動障害支援者養成研修（実践研修）の修了者<br>⑩ 平成27年4月以降に開催された行動援護従業者養成研修修了者<br>⑪ 養護学校の教員・知的障害者教育に従事する者<br>⑫ 知的障害者（児）・精神障害者（児）の直接支援業務に3年以上従事した者<br>⑬ その他（注3） |
| イ 行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解に関する演習 | ○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例<br>○ 擬似体験などにより、演習を指導する能力                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | イ 行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解に関する演習 | ○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例<br>○ 擬似体験などにより、演習を指導する能力                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| ウ 行動障害の背景にある特性の理解に関する演習          |                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | ウ 行動障害の背景にある特性の理解に関する演習          |                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| エ 障害特性の理解とアセスメントに関する演習           | ○ 強度行動障害がある者に対し適切な支援計画を作成する能力<br>○ 強度行動障害がある者の支援に関する具体的な知識及び経験に基づく技術<br>○ 擬似体験などにより、演習を指導する能力 | ① 行動障害を有する者が利用する施設等においてサービス管理責任者として従事経験のある者<br>② 行動援護事業所においてサービス提供責任者として従事経験のある者<br>③ 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園が開催する強度行動障害支援者養成研修（実践研修）指導者研修の修了者<br>④ 平成27年4月以降に開講した行動援護従業者養成研修の修了者で、知的障害者（児）・精神障害者（児）に対する直接支援業務に3年以上従事した者<br>⑤ 知的障害者（児）・精神障害者（児）に対する直接支援業務に3年以上従事し、支援計画の作成に携わっている者<br>⑥ その他（注3）                                                                                                                                                   | エ 障害特性の理解とアセスメントに関する演習           | ○ 強度行動障害がある者に対し適切な支援計画を作成する能力<br>○ 強度行動障害がある者の支援に関する具体的な知識及び経験に基づく技術<br>○ 擬似体験などにより、演習を指導する能力                 | ① 行動障害を有する者が利用する施設等においてサービス管理責任者として従事経験のある者<br>② 行動援護事業所においてサービス提供責任者として従事経験のある者<br>③ 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園が開催する強度行動障害支援者養成研修（実践研修）指導者研修の修了者<br>④ 平成27年4月以降に開講した行動援護従業者養成研修の修了者で、知的障害者（児）・精神障害者（児）に対する直接支援業務に3年以上従事した者<br>⑤ 知的障害者（児）・精神障害者（児）に対する直接支援業務に3年以上従事し、支援計画の作成に携わっている者<br>⑥ その他（注3）                                                                                                                                                   |
| オ 環境調整による強度行動障害の支援に関する演習         |                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | オ 環境調整による強度行動障害の支援に関する演習         |                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| カ 記録に基づく支援の評価に関する演習              |                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | カ 記録に基づく支援の評価に関する演習              |                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| キ 危機対応と虐待防止に関する演習                |                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | キ 危機対応と虐待防止に関する演習                |                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

- (注1) 「求められる能力」とは、知識に関しては受講者の質問に対し的確に回答ができ、技術に関しては受講者に的確に指導できるレベルであることを必要とする。
- (注2) 各科目の講師要件に係る業務に従事していた時期は、過去5年以内であることが望ましい。
- (注3) 原則として、講師は「講師の要件」に該当する職にある者又は資格保有者とする。ただし、「その他」の者を講師として申請する場合は、その経歴及び業績が講師として適当であることを説明した理由書を提出すること。

- (注1) 「求められる能力」とは、知識に関しては受講者の質問に対し的確に回答ができ、技術に関しては受講者に的確に指導できるレベルであることを必要とする。
- (注2) 各科目の講師要件に係る業務に従事していた時期は、過去5年以内であることが望ましい。
- (注3) 原則として、講師は「講師の要件」に該当する職にある者又は資格保有者とする。ただし、「その他」の者を講師として申請する場合は、その経歴及び業績が講師として適当であることを説明した理由書を提出すること。

7 同行援護従業者養成研修（一般課程）

| 科目     | 求められる能力（注1）                               | 講師の要件（注2）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|--------|-------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| （1）講義  |                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| ア 外出保障 | ○ 外出保障の考え方や意義に関する知識<br>○ 外出保障の歴史と現状に関する知識 | ① 障害福祉を担当する現職の行政職員<br>② 社会福祉士<br>③ 視覚障害を有する者が利用する社会福祉施設（事業所を含む）の施設長、事業所の管理者、サービス管理責任者、サービス提供責任者並びに指導的立場にある職員<br>④ 介護・福祉系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>⑤ 注3に該当する令和7年4月以降に開講した同行援護従業者養成研修一般課程修了者（又は、注3に該当する令和6年度以前の同行援護従業者養成研修応用課程修了者）<br>⑥ 視覚障害者移動支援事業従事者資質向上研修修了者<br>⑦ 国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者又はこれに準ずる者（注4）<br>⑧ その他（注5） |

7 同行援護従業者養成研修（一般課程）

| 科目                   | 求められる能力（注1）                                                                   | 講師の要件（注2）                                                                                                                                                                                                                               |
|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| （1）講義                |                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                         |
| ア 視覚障害者（児）福祉の制度とサービス | ○ 視覚障害者をとりまく制度と業務についての知識<br>○ 同行援護に関する知識及び制度とサービスについての知識                      | ① 当該科目を担当する現職の行政職員<br>② 社会福祉士<br>③ 当該社会福祉施設に勤務する職員〔施設長（又は管理者）、主任指導員等〕<br>④ 介護・福祉系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員<br>⑤ 同行援護従業者養成研修（一般・応用課程）修了者<br>⑥ 視覚障害者移動支援事業従事者資質向上研修修了者<br>⑦ 国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者又はこれに準ずる者（注3）<br>⑧ その他（注4） |
| イ 同行援護の制度と従業者の業務     |                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                         |
| ウ 障害・疾病の理解①          | ○ 視覚に関する障害・疾病に関する知識<br>○ 視覚障害者（児）及びその家族の生活実態と心理に関する知識<br>○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論 | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修課程修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者<br>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師                                                                                                                            |

|                          |                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                  |                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------------------------|----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| イ 視覚障害の理解と<br>疾病①        | ○ 視覚に関する障害・疾病<br>に関する知識                                              | ① 眼科医<br>② 注3に該当する介護福祉士<br>③ 注3に該当する実務者研修修了者<br>④ 看護師、准看護師、保健師<br>⑤ 介護・福祉系大学の学部・学科、医学・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>⑥ 視覚障害者移動支援事業従事者資質向上研修修了者<br>⑦ 国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者又はこれに準ずる者（注4）<br>⑧ その他（注5）                                                                                    | エ 障害者（児）の<br>心理① |                                                                   | ⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉系大学の学部・学科、医学・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員<br>⑧ 実務経験を有する同行援護従業者養成研修（一般・応用課程）修了者<br>⑨ 視覚障害者移動支援事業従事者資質向上研修修了者<br>⑩ 国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者又はこれに準ずる者（注3）<br>⑪ ウについては、眼科医師も可とする。<br>⑫ その他（注4） |
| ウ 視覚障害の理解と<br>疾病②        |                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                  |                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| エ 視覚障害者(児)の<br>心理        | ○ 視覚障害者(児)及びその<br>家族の生活実態と心理に<br>関する知識                               | ① 注3に該当する看護師、准看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>② 介護・福祉系大学の学部・学科、医学・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>③ 注3に該当する視覚障害者移動支援事業従事者資質向上研修修了者<br>④ 注3に該当する国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者又はこれに準ずる者（注4）<br>⑤ その他（注5）                                                                                                 | オ 情報支援と情<br>報提供  | ○ 生活者支援の視点に立<br>脚した介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく<br>移動支援技術<br>○ 自らの移動支援事例 | 実務経験を有する<br>① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修課程修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級修了者<br>⑤ 同行援護従業者養成研修（一般・応用課程）修了者<br>⑥ 視覚障害者移動支援事業従事者資質向上研修修了者<br>⑦ 国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者又はこれに準ずる者（注3）<br>⑧ 同行援護従業者として3年以上の実務経験を有する者<br>⑨ その他（注4）                  |
| オ 視覚障害者(児)福<br>祉の制度とサービス | ○ 視覚障害者をとりまく制<br>度と業務についての知識<br>○ 同行援護に関する知識及<br>び制度とサービスについて<br>の知識 | ① 障害福祉を担当する現職の行政職員<br>② 社会福祉士<br>③ 視覚障害を有する者が利用する施設及び事業所等の施設長、管理者（サービス管理責任者、サービス提供責任者を含む）並びに指導的立場にある職員<br>④ 介護・福祉系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>⑤ 注3に該当する令和7年4月以降に開講した同行援護従業者養成研修一般課程修了者（又は、注3に該当する令和6年度以前の同行援護従業者養成研修応用課程修了者）<br>⑥ 視覚障害者移動支援事業従事者資質向上研修修了者<br>⑦ 国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者又は | カ 代筆・代読の基<br>礎知識 |                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| カ 同行援護の制度                |                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | キ 同行援護の基<br>礎知識  | ○ 生活者支援の視点に立<br>脚した介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく<br>移動支援技術                | ① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修課程修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者<br>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員                                                         |

|                          |                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                    |                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                          |                                                                                                          | <u>これに準ずる者（注4）</u><br><u>⑧ その他（注5）</u>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                    |                                                                                                      | <u>⑧ 同行援護従業者として3年以上の実務経験を有する者</u><br><u>⑨ 当該科目に関する実務経験を有する同行援護従業者養成研修（一般・応用課程）修了者</u><br><u>⑩ 視覚障害者移動支援事業従事者資質向上研修修了者</u><br><u>⑪ 国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者又これに準ずる者（注3）</u><br><u>⑫ その他（注4）</u>                                                                                                                                  |
| <u>（2）講義・演習</u>          |                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                    |                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <u>ア 情報提供</u>            | <u>○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論</u><br><u>○ 直接援助経験に基づく情報提供支援技術</u><br><u>○ 自らの情報提供支援事例</u><br><u>○ 実技を指導する能力</u> | <u>① 注3に該当する介護福祉士</u><br><u>② 注3に該当する介護職員基礎研修課程修了者</u><br><u>③ 注3に該当する実務者研修修了者</u><br><u>④ 注3に該当する訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者</u><br><u>⑤ 介護・福祉系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）</u><br><u>⑥ 注3に該当する令和7年4月以降に開講した同行援護従業者養成研修一般課程修了者（又は、注3に該当する令和6年度以前の同行援護従業者養成研修応用課程修了者）</u><br><u>⑦ 同行援護従業者として3年以上の実務経験を有する者</u><br><u>⑧ 注3に該当する視覚障害者移動支援事業従事者資質向上研修修了者</u>                                   | <u>ア 基本技能</u><br><br><u>イ 応用技能</u> | <u>○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論</u><br><u>○ 直接援助経験に基づく移動支援技術</u><br><u>○ 自らの移動支援事例</u><br><u>○ 実技を指導する能力</u> | 実務経験を有する<br><u>① 介護福祉士</u><br><u>② 介護職員基礎研修課程修了者</u><br><u>③ 実務者研修修了者</u><br><u>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者</u><br><u>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師</u><br><u>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士</u><br><u>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員</u><br><u>⑧ 同行援護従業者として3年以上の実務経験を有する者</u><br><u>⑨ 同行援護従業者養成研修（一般・応用課程）修了者</u> |
| <u>イ 代筆・代読①</u>          |                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                    |                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <u>ウ 代筆・代読②</u>          |                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                    |                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <u>キ 同行援護従業者の実際と職業倫理</u> | <u>○ 従業者の具体的な業務内容と職業倫理に関する知識</u>                                                                         | <u>① 障害福祉を担当する現職の行政職員</u><br><u>② 社会福祉士</u><br><u>③ 視覚障害を有する者が利用する施設及び事業所等の施設長、管理者（サービス管理責任者、サービス提供責任者を含む）並びに指導的立場にある職員</u><br><u>④ 介護・福祉系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）</u><br><u>⑤ 注3に該当する令和7年4月以降に開講した同行援護従業者養成研修一般課程修了者（又は、注3に該当する令和6年度以前の同行援護従業者養成研修応用課程修了者）</u><br><u>⑥ 視覚障害者移動支援事業従事者資質向上研修修了者</u><br><u>⑦ 国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者又はこれに準ずる者（注4）</u><br><u>⑧ その他（注5）</u> |                                    |                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                         | <u>⑨ 注3に該当する国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者又はこれに準ずる者（注4）</u><br><u>⑩ その他（注5）</u>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <u>（3）演習</u>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <u>ア 誘導の基本技術①</u>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | <u>○ 生活者支援の視点に立った介護方法論</u><br><u>○ 直接援助経験に基づく情報提供支援技術</u><br><u>○ 自らの情報提供支援事例</u><br><u>○ 実技を指導する能力</u> | <u>① 注3に該当する介護福祉士</u><br><u>② 注3に該当する介護職員基礎研修課程修了者</u><br><u>③ 注3に該当する実務者研修修了者</u><br><u>④ 注3に該当する訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者</u><br><u>⑤ 注3に該当する看護師、准看護師、保健師</u><br><u>⑥ 介護・福祉系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）</u><br><u>⑦ 注3に該当する令和7年4月以降に開講した同行援護従業者養成研修一般課程修了者（又は、令和6年度以前の同行援護従業者養成研修応用課程修了者）</u><br><u>⑧ 同行援護従業者として3年以上の実務経験を有する者</u><br><u>⑨ 注3に該当する視覚障害者移動支援事業従事者資質向上研修修了者</u><br><u>⑩ 注3に該当する国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者又はこれに準ずる者（注4）</u><br><u>⑪ その他（注5）</u> |
| <u>イ 誘導の基本技術②</u>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <u>ウ 誘導の応用技術（場面別・街歩き）</u><br><u>①</u>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <u>エ 誘導の応用技術（場面別・街歩き）</u><br><u>②</u>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <u>オ 交通機関の利用</u>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>（注1）「求められる能力」とは、知識に関しては受講者の質問に対し的確に回答ができ、技術に関しては受講者に的確に指導できるレベルであることを必要とする。</p> <p>（注2）各科目の講師要件に係る業務に従事していた時期は、過去5年以内であることが望ましい。</p> <p>（注3）<u>視覚障害者の支援に関する実務経験を1年以上有する者。該当する実務経験については、別記第1号の11様式「講師履歴」の経歴欄に記載すること。</u></p> <p>（注4）「国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者又はこれに準ずる者」における「準ずる者」とは、視覚障害生活訓練指導員研修修了者、視覚障害者に対する歩行訓練及び生活訓練を行う者を養成する研修の修了者を指す。</p> <p>（注5）原則として、講師は「講師の要件」に該当する職にある者又は資格保有者とする。ただし、「その他」の者を講師として申請する場合は、その経歴及び業績が講師として適当であることを説明した理由書を提出すること。</p> |                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p>（注1）「求められる能力」とは、知識に関しては受講者の質問に対し的確に回答ができ、技術に関しては受講者に的確に指導できるレベルであることを必要とする。</p> <p>（注2）各科目の講師要件に係る業務に従事していた時期は、過去5年以内であることが望ましい。</p> <p>（注3）「国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者又はこれに準ずる者」における「準ずる者」とは、視覚障害生活訓練指導員研修修了者、視覚障害者に対する歩行訓練及び生活訓練を行う者を養成する研修の修了者を指す。</p> <p>（注4）原則として、講師は「講師の要件」に該当する職にある者又は資格保有者とする。ただし、「その他」の者を講師として申請する場合は、その経歴及び業績が講師として適当であることを説明した理由書を提出すること。</p> |  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|

8 同行援護従業者養成研修（応用課程）

| 科目               | 求められる能力（注1）                                               | 講師の要件（注2）                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|------------------|-----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| （1）講義            |                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| ア サービス提供責任者の業務   | ○ サービス提供責任者の役割と業務に関する知識<br>○ 高齢化、障害の重度化・重複化の現状に関する知識と支援技術 | ① 視覚障害を有する者が利用する社会福祉施設（事業所を含む）においてサービス管理責任者又はサービス提供責任者として1年以上従事経験のある者<br>② 令和7年4月以降に開講した同行援護従業者養成研修応用課程修了者で、視覚障害者に対する直接支援業務に3年以上従事した者<br>③ 国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者又はこれに準ずる者（注4）で、視覚障害者に対する直接支援業務に3年以上従事した者<br>④ 介護・福祉系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>⑤ その他（注5） |
| イ 様々な利用者への対応     | ○ 個別支援計画の作成に関する知識・技術及びチームケアに関する知識                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| ウ 個別支援計画と他機関との連携 |                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| エ 業務上のリスクマネジメント  | ○ リスクマネジメントに関する知識<br>○ 従業者の質向上に向けた人材育成方法や研修の取組事例          | ① 視覚障害を有する者が利用する社会福祉施設（事業所を含む）においてサービス管理責任者又はサービス提供責任者として1年以上従事経験のある者<br>② 同行援護事業所を運営する法人の責任者及び管理者並びに指導的立場にある職員<br>③ 介護・福祉系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員（当該科目と同様の内容を教授した経験のある者）<br>④ その他（注5）                                                                                                        |
| オ 従業者研修の実施       |                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| カ 同行援護の実務上の留意点   | ○ 同行援護制度の業務上の留意点や他の福祉制度に関する知識                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

8 同行援護従業者養成研修（応用課程）

| 科目           | 求められる能力（注1）                                           | 講師の要件（注2）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------------|-------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| （1）講義        |                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| ア 障害・疾病の理解②  | ○ ガイドヘルプに関する知識<br>○ 医療に関する知識                          | 実務経験を有する（注3）<br>① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修課程修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者<br>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉系大学の学部・学科、医学・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員<br>⑧ 同行援護従業者養成研修（一般・応用課程）修了者<br>⑨ 視覚障害者移動支援事業従事者資質向上研修修了者<br>⑩ 国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者又はこれに準ずる者（注4）<br>⑪ アについては、眼科医師も可とする。<br>⑫ その他（注5） |
| イ 障害者（児）の心理② | ○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく介護技術<br>○ 自らの介護事例 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |           |                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | (2) 演習    |                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ア 場面別基本技能 | ○ 生活者支援の視点に立脚した介護方法論<br>○ 直接援助経験に基づく介護技術 | 実務経験を有する<br>① 介護福祉士<br>② 介護職員基礎研修課程修了者<br>③ 実務者研修修了者<br>④ 訪問介護員・居宅介護従業者養成研修1級課程修了者<br>⑤ 訪問介護・訪問看護・居宅介護を行っている看護師、准看護師、保健師<br>⑥ 在宅福祉サービスと連携をとって活動している看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士<br>⑦ 介護・福祉・看護系大学の学部・学科、介護福祉士養成校・養成施設の教員<br>⑧ 同行援護従業者として3年以上の実務経験を有する者<br>⑨ 同行援護従業者養成研修（一般・応用課程）修了者<br>⑩ 視覚障害者移動支援事業従事者資質向上研修修了者<br>⑪ 国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者又はこれに準ずる者（注4）<br>⑫ その他（注5） |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | イ 場面別応用技能 | ○ 自らの介護事例<br>○ 実技を指導する能力                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ウ 交通機関の利用 |                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>(注1)「求められる能力」とは、知識に関しては受講者の質問に対し的確に回答ができ、技術に関しては受講者に的確に指導できるレベルであることを必要とする。</p> <p>(注2) 各科目の講師要件に係る業務に従事していた時期は、過去5年以内であることが望ましい。</p> <p>(注3) <u>視覚障害者の支援に関する実務経験を1年以上有する者。該当する実務経験については、別記第1号の11様式「講師履歴」の経歴欄に記載すること。</u></p> <p>(注4) 国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者又はこれに準ずる者」における「準ずる者」とは、視覚障害生活訓練指導員研修修了者、視覚障害者に対する歩行訓練及び生活訓練を行う者を養成する研修の修了者を指す。</p> <p>(注5) 原則として、講師は「講師の要件」に該当する職にある者又は資格保有者とする。ただし、「その他」の者を講師として申請する場合は、その経歴及び業績が講師として適当であることを説明した理由書を提出すること。</p> |           |                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |  |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|
| <p>(注1)「求められる能力」とは、知識に関しては受講者の質問に対し的確に回答ができ、技術に関しては受講者に的確に指導できるレベルであることを必要とする。</p> <p>(注2) 各科目の講師要件に係る業務に従事していた時期は、過去5年以内であることが望ましい。</p> <p>(注3) 「国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者又はこれに準ずる者」における「準ずる者」とは、視覚障害生活訓練指導員研修修了者、視覚障害者に対する歩行訓練及び生活訓練を行う者を養成する研修の修了者を指す。</p> <p>(注4) 原則として、講師は「講師の要件」に該当する職にある者又は資格保有者とする。ただし、「その他」の者を講師として申請する場合は、その経歴及び業績が講師として適当であることを説明した理由書を提出すること。</p> |  |  |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|

別表 2

障害者居宅介護従業者基礎研修等事業実習先一覧

障害者居宅介護従業者基礎研修課程  
(現行のとおり)

重度訪問介護従業者養成研修 (基礎課程)  
(現行のとおり)

重度訪問介護従業者養成研修 (追加課程)  
(現行のとおり)

重度訪問介護従業者養成研修 (統合課程)  
(現行のとおり)

行動援護従業者養成研修課程  
(現行のとおり)

別表 2

障害者居宅介護従業者基礎研修等事業実習先一覧

障害者居宅介護従業者基礎研修課程  
(略)

重度訪問介護従業者養成研修 (基礎課程)  
(略)

重度訪問介護従業者養成研修 (追加課程)  
(略)

重度訪問介護従業者養成研修 (統合課程)  
(略)

行動援護従業者養成研修課程  
(略)

同行援護従業者養成研修 (一般課程)

演習に代えて行う実習

- |                 |            |
|-----------------|------------|
| (1) <u>基本技能</u> | <u>4時間</u> |
| (2) <u>応用技能</u> | <u>4時間</u> |

- 居宅介護事業所 (視覚障害者等の通院等介助を行うものに限る)  
※ 居宅介護事業所に従事する視覚障害者の通院等介助を行う者とともに、移動支援の実習を行う。
- 同行援護事業所  
※ 同行援護事業所に従事する同行援護従業者とともに、同行援護の実習を行う。
- 移動支援事業所 (視覚障害者移動支援を行うものに限る)  
※ 移動支援事業所に従事する視覚障害者移動支援従業者とともに、移動支援の実習を行う。
- 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス等事業者 (施設入所支援を含む)  
※ 施設において視覚障害者等の直接処遇を行うものに限る。

|  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <div>同行援護従業者養成研修（応用課程）</div> <div><div>演習に代えて行う実習</div><div><div><div>（１）場面別基本技能</div><div>3時間</div></div><div><div>（２）場面別応用技能</div><div>3時間</div></div><div><div>（３）交通機関の利用</div><div>4時間</div></div></div><div><div>○ 居宅介護事業所（視覚障害者等の通院等介助を行うものに限る）</div><div>※ 居宅介護事業所に従事する視覚障害者の通院等介助を行う者とともに、移動支援の実習を行う。</div><div>○ 同行援護事業所</div><div>※ 同行援護事業所に従事する同行援護従業者とともに、同行援護の実習を行う。</div><div>○ 移動支援事業所（視覚障害者移動支援を行うものに限る）</div><div>※ 移動支援事業所に従事する視覚障害者移動支援従業者とともに、移動支援の実習を行う。</div><div>○ 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス等事業者（施設入所支援を含む）</div><div>※ 施設において視覚障害者等の直接処遇を行うものに限る。</div></div></div> |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

様式（※変更のあったもののみ）

別記第1号の7様式

研修カリキュラム表（同行援護従業者養成研修 一般課程・応用課程 通学・通信）

事業者名

| 【一般課程】             |     |           |  |
|--------------------|-----|-----------|--|
| 講義（8.5時間）          |     | 講義（時間）    |  |
| 外出保障               | 1   |           |  |
| 視覚障害の理解と疾病①        | 1   |           |  |
| 視覚障害の理解と疾病②        | 0.5 |           |  |
| 視覚障害者（児）の心理        | 1   |           |  |
| 視覚障害者（児）福祉の制度とサービス | 1.5 |           |  |
| 同行援護の制度            | 1   |           |  |
| 同行援護従業者の実際と職業倫理    | 2.5 |           |  |
| 追加カリキュラム           |     |           |  |
| 講義・演習（3.5時間）       |     | 講義・演習（時間） |  |
| 情報提供               | 2   |           |  |
| 代筆・代読①             | 1   |           |  |
| 代筆・代読②             | 0.5 |           |  |
| 追加カリキュラム           |     |           |  |
| 演習（16時間）           |     | 演習（時間）    |  |
| 誘導の基本技術①           | 4   |           |  |
| 誘導の基本技術②           | 3   |           |  |
| 誘導の応用技術（場面別・街歩き）①  | 4   |           |  |
| 誘導の応用技術（場面別・街歩き）②  | 1   |           |  |
| 交通機関の利用            | 4   |           |  |
| 追加カリキュラム           |     |           |  |
| 計 28 時間            |     | 計 時間      |  |

| 【応用課程】         |   |        |  |
|----------------|---|--------|--|
| 講義（6時間）        |   | 講義（時間） |  |
| サービス提供責任者の業務   | 1 |        |  |
| 様々な利用者への対応     | 1 |        |  |
| 個別支援計画と他機関との連携 | 1 |        |  |
| 業務上のリスクマネジメント  | 1 |        |  |
| 従業者研修の実施       | 1 |        |  |
| 同行援護の実務上の留意点   | 1 |        |  |
| 追加カリキュラム       |   |        |  |
| 計 6 時間         |   | 計 時間   |  |

別記第1号の7様式

研修カリキュラム表（同行援護従業者養成研修 一般課程・応用課程 通学・通信）

事業者名

| 【一般課程】             |   |        |  |
|--------------------|---|--------|--|
| 講義（12時間）           |   | 講義（時間） |  |
| 視覚障害者（児）福祉の制度とサービス | 1 |        |  |
| 同行援護の制度と従業者の業務     | 2 |        |  |
| 障害・疾病の理解①          | 2 |        |  |
| 障害者（児）の心理①         | 1 |        |  |
| 情報支援と情報提供          | 2 |        |  |
| 代筆・代読の基礎知識         | 2 |        |  |
| 同行援護の基礎知識          | 2 |        |  |
| 追加カリキュラム           |   |        |  |
| 演習（8時間）            |   | 演習（時間） |  |
| 基本技能               | 4 |        |  |
| 応用技能               | 4 |        |  |
| 追加カリキュラム           |   |        |  |
| 計 20 時間            |   | 計 時間   |  |

| 【応用課程】     |   |        |  |
|------------|---|--------|--|
| 講義（2時間）    |   | 講義（時間） |  |
| 障害・疾病の理解②  | 1 |        |  |
| 障害者（児）の心理② | 1 |        |  |
| 追加カリキュラム   |   |        |  |
| 演習（10時間）   |   | 演習（時間） |  |
| 場面別基本技能    | 3 |        |  |
| 場面別応用技能    | 3 |        |  |
| 交通機関の利用    | 4 |        |  |
| 追加カリキュラム   |   |        |  |
| 計 12 時間    |   | 計 時間   |  |

別記第1号の11様式（別紙）（同行援護従業者養成研修（一般課程・応用課程）関係）  
担 当 科 目 一 覧

講師名

【一般課程】

| 講師要件番号 | 科目名                  |
|--------|----------------------|
|        | (1)講義                |
|        | ア 外出保障               |
|        | イ 視覚障害の理解と疾病①        |
|        | ウ 視覚障害の理解と疾病②        |
|        | エ 視覚障害者(児)の心理        |
|        | オ 視覚障害者(児)福祉の制度とサービス |
|        | カ 同行援護の制度            |
|        | キ 同行援護従業者の実際と職業倫理    |
|        | (2)講義・演習             |
|        | ア 情報提供               |
|        | イ 代筆・代読①             |
|        | ウ 代筆・代読②             |
|        | (3)演習                |
|        | ア 誘導の基本技術①           |
|        | イ 誘導の基本技術②           |
|        | ウ 誘導の応用技術(場面別・街歩き)①  |
|        | エ 誘導の応用技術(場面別・街歩き)②  |
|        | オ 交通機関の利用            |

【応用課程】

| 講師要件番号 | 科目名              |
|--------|------------------|
|        | (1)講義            |
|        | ア サービス提供責任者の業務   |
|        | イ 様々な利用者への対応     |
|        | ウ 個別支援計画と他機関との連携 |
|        | エ 業務上のリスクマネジメント  |
|        | オ 従業者研修の実施       |
|        | カ 同行援護の実務上の留意点   |

※ 担当する科目について、「講師要件番号」欄に東京都障害者居宅介護従業者基礎研修等事業者指定要領別表1の該当科目における講師要件番号を記載してください。

別記第1号の11様式（別紙）（同行援護従業者養成研修（一般課程・応用課程）関係）  
担 当 科 目 一 覧

講師名

【一般課程】

| 講師要件番号 | 科目名                  |
|--------|----------------------|
|        | (1)講義                |
|        | ア 視覚障害者(児)福祉の制度とサービス |
|        | イ 同行援護の制度と従業者の業務     |
|        | ウ 障害・疾病の理解①          |
|        | エ 障害者(児)の心理①         |
|        | オ 情報支援と情報提供          |
|        | カ 代筆・代読の基礎知識         |
|        | キ 同行援護の基礎知識          |
|        | (2)演習                |
|        | ア 基本技能               |
|        | イ 応用技能               |

【応用課程】

| 講師要件番号 | 科目名          |
|--------|--------------|
|        | (1)講義        |
|        | ア 障害・疾病の理解②  |
|        | イ 障害者(児)の心理② |
|        | (2)演習        |
|        | ア 場面別基本技能    |
|        | イ 場面別応用技能    |
|        | ウ 交通機関の利用    |

※ 担当する科目について、「講師要件番号」欄に東京都障害者居宅介護従業者基礎研修等事業者指定要領別表1の該当科目における講師要件番号を記載してください。